



<間伐した木の運び出し>



## Contents

ホームページでは、**カラー**で見ることができます

URL <http://www.naranature.com>



祝卒寿 菊川年明さん	1	薪割り繁盛記	7
ならやまプロジェクト	2	奈良県立医科大学附属病院にて	8
Monthly Repo ならやま	3	Galleryならやま	9
里山の今 (パトロール・果樹)	4	行事案内	10
私の六十の手習い!	5	幹事会報告・編集後記	11
海外ボランティア活動体験記-5	6		

## 祝 卒寿 菊川年明さん

顧問 鈴木 末一

ならやまでカメラを片手に昆虫を追いかける“ムシ博士”菊川年明さん。観察し続けること十有余年。このほど、当会創設以来二十年余、延べ約250有余名の会員の中で初めて、めでたく満九十歳の「卒寿」をお迎えになりました。心からお祝い申し上げます。



ある日、ならやまで自転車姿の菊川さんに出会い、「今日も昆虫観察ですか」とお尋ねすると、「信楽方面へ行っての帰りです」とのこと。たまげていると、「珍しい昆虫や植物に気づいた時、自転車であれば、すぐに停まりますから」。涼しげなお言葉に二度びっくり。

菊川さんが撮り溜めた昆虫 600 種以上の貴重な知的財産を次世代に、と考へ、図録を編纂し、自然環境教育の生きた教材として活用することになりました。掲載する昆虫の選定、解説文と写真データなどはほとんど菊川さんに委ねることになりました。

できた図録は、朝日新聞の「天声人語」にも紹介され、全国から問い合わせが殺到。手にされた方々から多くの賛辞をいただきました。

◇

どうしたらそんなに元気で活躍できるのかわりたくて、秘訣をそっとお聞きしました――。

【体をよく動かす】医師の勧めもあり、以前は自転車(ロードバイク)で走っていたが、昨年2月から「歩き」に変えた。毎日午前中、ならやまの林内を1時間半～2時間、歩数にして8000歩余り。歩き通

しては、野鳥、虫、植物などの写真撮影、丸太階段や安全ロープの小修繕などをしながら。

ちなみに自転車では、80代前半はロードバイクで毎日午前中に40km、木津川自転車道の京田辺緑地公園まで、80代後半では大抵は同じ道を30km、京田辺の三山木まで走っていた。

それから、毎朝、NHK・Eテレ 6時25分～35分のテレビ体操をしている。

【食生活】「腹7分目」に努めている。朝・昼の米飯は茶碗に1杯。夕食は、清酒100mlと副食だけで、米飯抜き。その後の間食はしない。

食事に大切な歯の健康を保つため毎食後と就寝前、3分間歯磨きを励行。歯は27本ある。

【睡眠】寝床に入るのは大体21時だが、このあと30分～1時間前後は本を読む。これは楽しみ。

【モノ作り】モノ作りは子供の頃から好きで、模型飛行機、鉱石ラジオに始まって、真空管式ラジオ、同白黒テレビ(実際は廃物のオシログラフ用ブラウン管を使ったので緑



黒)、無線機(アマチュア無線用、2級アマチュア無線技士免許)など制作。模型の電気機関車(写真参照)は70代でも作っていた。

【脳活】頭の体操を兼ねて、シリーズ本の「脳活道場」2冊を毎朝各2ページずつ実践。加えて「おとなのための1分音読」という、これもシリーズものの本の朗読を4ページ行っている。

【心がけ】物事に対しては「ものは思いよう」という気持ちで臨んでいる。「お金は乏しいけれど、お金で買えない健康という宝物をいただいている」と思うようにしている。それに「何事も60点であれば合格、それでよし」をモットーにしている。

すべてを真似ることはできそうになくとも、自分にも実行できそうなことからやってみませんか。「私も卒寿」を目指して――。

いまや「人生百歳時代」。菊川さん、九十歳はまだまだお若い。お体を大切に、いつまでもお元気で活躍してください。

# ならやまプロジェクト

明るく・楽しく・無理をせず  
あなたも私も・力合わせて

WBC での日本チームの快挙とともに桜は一斉に開花したようだ。今日は活動日だが、外は雨で明日になった。この季節にしとしと降るのは菜種梅雨、春の花の開花を促す催花雨とも呼ぶそうだ。明日の活動日には、私たちが応援するように咲き誇る川井桜が見られることだろう。



ふんわり優しく  
見守ってくれる川井桜

この季節は新たな人を迎えるときでもあり、新入会員歓迎会も控えている。一方、体調を崩しながらもできる限り協力してくれた方でも年度末を区切りに退会する人もいる。出会いと別れの季節でもある。これまで尽くしてくれた方々に感謝するとともに、新しい仲間との出会いにも感謝して、「強い集団」であり続けたいと願う。

自然の仲間たちは、春の陽光を受けて蠢動し、新しい命を育む活動を開始した。一年で最も気持ちがよく心もはずむ季節、私たちが負けないで少しずつでもギヤアップしよう。

## 4月の活動特記事項

4月6日(木): 協働活動(アダプトプログラム)

春のならやま自然観察会(雨天の場合は翌週4月13日)

## 4月の各グループ活動予定

グループ	活動予定
里山	里山林内整備(楢木置場)、薪割り 薪棚更新、テント倉庫屋根補修 ユート: アカマツの森でのマツの間伐整備
エコファーム	水田の整備、野菜定植用畑の準備、 落花生・枝豆の播種、葉物野菜定植(ナス、唐辛子、ピーマンなど) カボチャ・スイカの定植、サトイモ植え付け準備、さつま芋畑の準備
景観	整備: チッパーによる伐採竹の粉碎、BC周辺・彩の森草刈り タケノコ収穫、ミツバチ巣箱整備 ビオ: 西池整備、水路補修・泥上げ 花: 樹木・花の草引き、施肥
パトロール	1~3コースパトロール、観察路整備、保護植物周辺整備 春のならやま自然観察会主導、テント倉庫屋根補修
果樹	鹿よけフェンスの設置、グミの鳥よけネット設置、山菜収穫 B地区地ならしと竹チップ敷き、竹チップのコンポスト集積

活動日: 毎週木曜日 9:00~15:00

前日の19時現在の気象庁予報(NHKTV 奈良 19時前放送)の天気予報で、奈良県北部の午前中の降雨確率60%以上の場合は翌日、翌日も同予報であれば中止



## Monthly Repo. **ならやま**

富井 忠雄

### 2月23日(木) 雨 59名

降水確率40%だったが、午前中は雨となり、各Gの自主活動となった。

里山Gは椎茸榎木玉切り、薪材運搬、薪割り。景観Gは伐採竹材の粉碎作業を中止し、彩の森にワラビの根を植える。花班はギボウシ、ハンゲショウの草引き、寒肥やり。ビオ班は蓮池西側通路に木道を設置、タナゴ池に防鳥ネットを張る。パトロールGは3コースのパトロール、竹杭作り、立ち入り禁止区域(「きたかべ」と呼んでいる)の植生管理方法の確認。果樹Gは実りの森の南斜面の整備、橋の剪定、粉碎チップのコンポストへの集積。



### 3月2日(木) 午前中雨 68名

早朝の雨で作業環境が悪く、協働活動(椎茸菌打ち・榎木の整理、アダプトプログラム)は延期となった。

里山Gはメタセコイアの植樹、No.26区画の椎茸榎木置き場整備、薪割り。エコGは玉葱の追肥、ピーマンなどの種播き、野菜の収穫と販売。景観GはBC西側竹林での伐採竹材の粉碎作業。花班はアガパンサス、イチハツの草引きなど。ビオ班は北側水田の東側水路の泥上げ、西池の法面の補修。パトロールGは1コース観察路の笹草刈り、立ち入り禁止地区「きたかべ」の調査など。果樹Gは実りの森の橋の整備、ブルーベリーの移植床の設置など。

### 3月3日(金) 京大徳地先生他11名+5名

京都大学の徳地先生、他11名がならやまに訪問され、里山保全活動の概要を説明し、ならやま里山林を案内。



### 3月9日(木) 晴れ 76名

+2名(奈良県景観・自然環境課)

協働活動(椎茸菌打ち、榎木・伐採木整理、アダプトプログラム)を実施。新入会員(大山博美さん)が紹介された。

里山Gは椎茸菌打ち、榎木・伐採木整備の主導、遊びの森の遊具撤去、薪割り。エコGはカボチャなどの種まき、ジャガイモの植付け、野菜の収穫と販売。景観Gは伐採竹材の粉碎。花班はBCの桜周辺の草引きなど。ビオ班は西池の西、東側の法面の補修と廃材の撤去。パトロールGは2コースのパトロール、「きたかべ」の観察路作りなど。果樹Gは南斜面の整備、ブルーベリー移植床への腐葉土すき込みなど。

### 3月16日(木) 晴れ 69名

わいわい桜祭り、新入会員歓迎会についてそれぞれのスタッフが打ち合わせ。

里山Gは椎茸榎木置き場間伐整備、コナラ・クヌギの実の苗床への植付け。エコGはジャガイモの植付け、夏野菜の種播き、野菜の収穫と販売。景観Gは伐採竹材の粉碎。花班は野草園の草引きなど。パトロールGは3コースのパトロール、観察路草刈り、4月6日の自然観察会の打ち合わせなど。果樹Gはブルーベリーの移植、レモンと金柑の植付けなど。

パトロールグループ

里山の今

果樹グループ

赤岳



コロナの流行下で良かったこと

菊川 年明

杉本 登

今回はならやま観察路の要所の一つである赤岳にまつわる来歴をご紹介します。

観察路の主要部分がおおむね完成した頃のことですが、ベースキャンプ前から南北に走る稜線を南に進むとやがて稜線の南端の赤土の露出した小ピークに辿り着きます。

観察路はここを分岐点として東に向かって稜線を進む道と南に下降する道に分かれます。東への稜線を進むと自転車道に至ります。奈良市が設置している水処理場の近くです。赤土の小ピークを南に下ると東西に走る谷間の西端近くに出ます。ここから西に向かうと佐保自然の森に至ります。

赤土の小ピークはこのような要所なので何か名前を付けようということになりました。「禿げ山」でよいという意見もありましたが少し優雅な名前がよいということで「赤土が露出しているから赤岳はどうか」という案が出ました。「赤岳といえば有名なハケ岳連峰の最高峰と同じだから名前が大きすぎないか」という異論がありましたが、結果としては赤岳に軍配が上がり、以来赤岳の名が定着し、今に至っています。

この場所の赤土を踏むと、赤土の粘性がとても強く、靴底にべったり張り付いて取り除けず靴がとても重くなって困らされていました。それでこの場所に丸太階段状のものを設置して、靴が直接赤土に触れることを防げるようにしました。(右の写真)



また、この場所は空が大きく開けていて、西には生駒山の連山が見渡せる気持ちのよい休憩場所になりますので、簡単なベンチも据えました。

赤岳には以上のようなことがありました。

コロナ流行は4年目に入った。ワクチンの普及で世界的な流行は落ち着きつつあり、日本でも新規感染者数は減少傾向にある。ウイルスによる感染症で人から人に感染し、ウイルスが変異していくからやっかいである。私も持病を持つ高齢者なので、自宅周辺を散歩するぐらいで、旅行も自粛していた。21世紀になってこのような感染症が大流行するとは思ってもみなかった。奈良時代に平城京で天然痘が大流行したことがあった。当時、平城京には約10万人の人が居住していたが、約半数が亡くなったという。当時は、人々は感染症には無力で自然に収まるのを待つしかなかった。これには身分の上下は関係なく、当時権力の絶頂にあった藤原4兄弟(不比等の子達)が4人とも亡くなった。これにより藤原氏の力が大いに衰え、王族の橘諸兄が台頭した。しかし、現在のコロナの流行は、私にとっては良いこともあった。私は、鼻が悪く冬にはよく風邪をひき、耳鼻咽喉科のお世話になる。普通の人には風邪くらい放っておいても治るが、蓄膿症の手術をした私はなかなか治らなくて耳鼻科に通うのである。しかし、この3年間、一度も風邪をひかないし、耳鼻科にも行っていない。正にマスクと手洗いのおかげである。コロナと同じく風邪もウイルスなのである。良かったことのその2は、奈良検定の勉強時間がたっぷり取れたことだ。元々歴史や万葉集が大好きで、奈良検定に挑戦した。2級、1級は4択問題で1回で合格したが、最上級のソムリエ級で2回不合格になってしまった。4択問題も既出問題は出ないし、論述式問題もあり敷居がかなり高かった。しかし時間がたっぷりあったおかげで、今年は何とか合格できたのではないかと思う。5月10日の発表が楽しみである。

## 私の六十の手習い！

我会悦一点ノレ中文



## 豊田 治代

夫婦ともに、本当に忙しく働いていた40代の頃、こんなに忙しく働いているご褒美に年三回海外旅行をしようとして話し合っ、旅を楽しんできました。往復のチケットと初日のホテルだけを予約し、地球の歩き方、ユーロレイルやブリットレイルのチケットを握りしめての旅でした。英語しか話せない旅行でしたが、通じなくて困った事が旅の良い思い出になる程度の困り方で旅を続けることができました。ドイツでマナーハウスに泊まり、朝食時にアイア、アイアと言われて分からなくて調理場に連れて行ってもらおうと卵だった！なんてこともありました。大学生の時二か月ほどドイツに短期留学していたけど、忘却の彼方！とはいえ、下手な英語で十分に旅を楽しんでいました。

ところが今から二十年位前重慶大学に留学中の息子を訪ねて行ったとき、タクシー二台に分かれて観光地に行き、別々の入り口に着き、待てど暮らせど息子は来ない、だんだん暗くなってきてこれは大変と紙に、Do you speak English? と書き、心配げに我々を取り囲んでいる方々に見せたけれど、どなたにも答えていただけなく、次に、我息子重慶大学留学生。我希望帰重慶大学学生寮と書いて皆さんに見せたところ口々にいろいろ言っくださり、お巡りさんがタクシーに乗せて行き先を言っくださって、何とか戻る事が出来ました。翌年、北京大学に変わった息子を訪ねてオリンピック前の北京に行った時も、英語ではどうにもなりません。息子を訪ねて旅している間に中国が大好きになった我々は、一大決心をして中国語を勉強することにしました。週二回、数年間カルチャーセンターで勉強した後、その先生のご自宅でプライベートレッスンをさせていただくこ

とになりました。A4版一枚に話したいことを中国語で書いていき、添削してもらってからそのことについて、一時間余りお話しするって授業を六年間余り続けました。

六十の手習いはなかなか手ごわく、習うのと忘れるのとの競争のように単語も文法もなかなか頭に入らなくて、中国語のソフトを入れてあるパソコンにポチポチと、調べ調べ入れていく、気の重い毎日でした。ただ、先生との中国語でのお話はとっても楽しいものでした。

ある時私が、中国人の生活で大切なもの？という話題で文章を書いていった時、先生は即座にそれは、人間関係よ！って答えられました。人間関係？って首をかしげる我々夫婦に先生はコネよコネ！って日本語で答えられ、その後中国のコネ社会について教えてもらい、忘れられない授業になりました。中国の教育制度や、彼らの勉強意欲の凄まじさについて、中国共産党と人々の現状について等々、本当にいろいろ話していただき良い勉強をさせていただきました。そのころ息子は日本企業の駐在員として、蘇州に住んでいました。彼の六年余りの駐在中、三十数回息子を訪ねて本当にいろいろな方々といろんなお話をさせていただきました。実際に使ってみると、やっと自分のものになり楽しくなります。

今また、七十の手習いでパソコン教室に一年余り通っています。これがまたまた新しいことがなかなか頭に入らなく大格闘の毎日ですが、ウン十年学生たちを教え続けてきた私にとって、習うことが新鮮で楽しくてたまりません。

今後も、新たな手習いを始めて、ワクワクしたいと考えています。俳句と川柳が待っててくれる！！これはもっと手ごわそう・・・！



## 海外ボランティア活動体験記—5

パラグアイ (1997-2002)

木村 裕

パラグアイの通貨の単位はグアラニで、お札にはたくさんのゼロが並んでいます。500、1000、5000、10000、50000、100000の6種類です。1000 グアラニで 54 円相当ですので、100 ドルも交換すれば大金持ち? になったような気がします。お札の更新はほとんど行われていないようで、擦り切れて薄くなったお札、落書き入りのお札、つぎはぎだらけのお札ばかりでピン札はめったにお目にかかりません。また汚れがひどくて臭いもついて触るのも躊躇するようなお札もあります。

国の財政状態が悪いせいで、対ドル比が年々下がり、価値は5年間で半減しました。輸入品はそれなりに値上げをするのに給料は上がり、住民の生活は厳しくなっています。

私たちが配属された公的機関は、朝7時から午後4時までの勤務で、年に1回一か月の長期休暇がとれます。そのため気温が最も高くなる1月は多くの職員が休暇をとります。しかしバカンス旅行などの余裕はなく、副業に精を出す人も少なくありません。国の財政がひっ迫したときには、午前中だけの勤務となり、リストラされた職員もかなりでした。

パラグアイは亜熱帯気候区に入り、9~2月は非常に暑くて40度になることもあり、エアコンなしではとても眠れません。一方冬にあたる4~7月では日中は暑くても陽が落ちると気温が下がり、暖房が欲しくなる日もあります。時には霜が降りてトマトやマンゴーなどの農作物が枯れる被害を生じることもあります。

暑い国なので美味しい果物をいっぱい食べられるものと期待していたのですが、予想は見事に外れ、美味しい果物はわずかでした。

ブラジルで改良されたアップル型(日本で栽培しているのもこのタイプ)のマンゴーがシー

ズンになると出回ります。1個50~150円くらいで美味しい!

バナナは大小2種類あって、それほど甘くはなく、すでに熟しているのでも2日もおくと皮の部分が黒くなります。12本単位(50円くらい)の販売ですので、食べるのが追いつきません。その他リンゴやプラムなどいろいろありますが、輸入物です。

メロンが11~12月ごろにどっと出回ります。赤肉系(日本の種子ですが日本ではあまり栽培されていない)で、1玉100円位です。当たり外れはありますが、大当たりもあります。



シーズンになると、硬くて甘味の薄いイチゴが一斉に出回り

ます。きれいな粒が山盛りになって売られていますが、下の見えないところにある果実は半分腐っています。しかしこちらの人はあまり気にしないようです。日本のようにケーキの飾りつけや生でたべることはなく、砂糖を山ほど入れてジュースにしてしまうので、少々の傷、甘味不足、硬さなどは問題にしないのかも。

スイカは畑全体の果実をすべて同時に収穫するせいかあたり外れが大きいです。

パラグアイは海に面していないこともあって魚を食べる習慣がなく、通常ナマズとセラピアしか手に入りません。幸いにも日系の商人(元移住者)が毎週ブラジルまで片道3~4時間かけて海の魚の仕入れに行きます。週1回、品物が入荷したところを見計らって買いに行きます。日系商人は魚の他、パラグアイにない日本の食材(調味料、乾物、めん類など)も仕入れてきます。ただし賞味期限には目をつぶる必要があります。手にはいるだけ御の字で贅沢は言えませんでした。

## 薪 割 り 繁 盛 記



坂東 久平

ならやまのコナラの一生は、ドングリから始まり薪やシイタケの原木で終わる。

小さな一粒のドングリが発芽し、20~30年掛けて大きな木となり、シイタケの原木や薪の元となる。



ナラガレなどで枯死したもののや森の整備のために伐倒された木は、薪の原料として40cmに切られて「玉」となる。

玉は運搬車で麓の薪割り場に運ばれ、薪割り機で加工され、薪棚に積まれて乾燥される。



約1年で薪の水分は最適とされる20%以下となり、お客さまに引き取っていただく。(水分が多いと煙の発生など問題が出る)

ならやまも昔は斧で割っていた。力自慢のSさんなどが活躍していたようだ。2012年頃から今の薪割り機になり、女性でも出来るようになった。

薪割りのノウハウはないが、とにかく端切れの木が機械に食い込まないように細心の注意をする必要がある。



一度機械を修理に出せばひと棚以上の修理代が掛かってしまうからである。

大きな玉を機械に載せるのは力仕事だ。2人がかりで載せたり、頑張って1人で載せたりするが、大変な力仕事だ。大きな木や節のある木は時々食い込んで機械を止めてしまうことがある。カケヤで逆に叩いて外し、どこから割るとうまく割れるかと考える。パカッと割れた時は爽快で、ささやかな達成感を味わっている。



薪の原料であるコナラが少なくなり、最近ではソヨゴなどの雑木も使っているが、素直に割れず度々機械を止めることが多いので困りものである。また、薪の値段も6掛けなので作業性からも報われない材料である。

薪割りチームは、女性メンバーと助っ人の男性が加わり地道に活動していたが、最近では主力女性



メンバーに故障者が多くなり、心配である。

薪棚も老朽化し屋根が壊れたり、支柱が傾いたりしており、Hさんが小屋の修理や新設に頑張っている。



貴重な里山林の「循環再生の整備活動と資源の有効活用」にお役に立つよう、今日も薪割りチームは頑張っている。



## 奈良県立医科大学

### 附属病院にて

戸田 博子

今まで生きてきて、それなりに山あり谷ありと思っていたが、今回の入院騒ぎは峡谷だった。

こむら返りを起こしたと思ったが、左足が右足の2倍近く腫れている。さすがに近くの病院に行った。「骨折はしていない。肉離れです。安静にして」。

痛み止めと湿布を処方されたが、痛みは止まらず足は変色、歩行困難。

日に1-2度疼痛、再度診察後、「肉離れではありませんね。血腫があるようです。整形外科の範囲外です」。

検査データをもらい受診先を考えていた夕方、痙攣、痛みを繰り返し救急車を頼んだ。搬送先が決まらず7件目、奈良市立病院に運ばれた。血液検査、MRI造影検査の結果 膝窩動脈瘤破裂がわかり急遽、奈良県立医科大学附属病院に搬送される事になった。ERの医師の話し方から、これは大変な事態だと感じた。

病院到着、救命センターにはたくさんの方が居て、次々に名前を言いながら話しかけて来る。すぐに手術にかかるのかと思っていたら、協議の結果朝9時からとなった。

気がついたら、午後の4時頃だった。2日後、集中治療室から一般病棟に移され、3日ぶりの食事はとてもおいしかった。

コロナの関係で、面会はないが、医師、看護師、理学療法士、医療担当者、部屋清掃など人の出入りが多し。痛みは消えていないが、以前の半分と感じる。

一週間程して窓の外を眺める余裕ができた。二上山、葛城山、金剛山、そして畝傍山、橿原神宮の森が見える。病室は6階の西向きなので太陽が沈み、暗くなると金星・木星が輝く。

病気でなければ、ホテルのようだ。

私が入院したのは心臓血管外科なので、患者は大きなリスクを抱え、手術をうけた人ばかりで私の病気など落ち込むほどではない。

病院のスタッフの方々の優しさ、安心感を与える話し方、仕事だけでは片付けられない心が伝わってきた。

自分の元気な時の態度を大いに反省させられた。退院後、元の生活に戻れるかはわからないけれど、この時の感謝の気持ちは忘れないで過ごしたい。

余談ではあるが、22年前奈良県立医科大学附属病院は、建て替えの工事が始まった。その当時私の夫はエレベーター工事の総責任者としてこちらに通っていた。しかし、まだ工事に着手する前の6月に亡くなった。

エレベーターは大きなビルなどの工事があるので、完成するとその建物を見に行った記憶がある。しかし病院ではあるし、夫が居なくなって一度も訪れる事はなかった。ところが今回、予期せずして病院に運び込まれた。

入院中、何度もエレベーターに乗り、会社のマークを見ながら、夫を思い出していた。ここに来なければ、まず見なかった。

「見に来い！」と呼んでくれた。

(それはないけど)

偶然や必然が重なった大きな体験だった。

窓の外では、チョウゲンボウが2羽大きく輪を描いて飛んでいる。これもここにいないと見られなかった。

私の人生で、一つの分岐点になった気がする。





# Gallery ならやま



油絵 小春日 F100号 小田進八郎



陶芸 咲いたかな 小島 武雄



陶芸 木の切り株蓋物 桜木 晴代



スケッチ ならやまの菜の花 梨本 哲

掲載作品はホームページではカラーでご覧いただけます。皆さまからの作品のご応募をお待ちしております。絵画・陶芸・写真・墨絵・手芸・パッチワーク・切り絵・自然工作など。

# 行事案内



春の自然観察会

「ならやまの身近な草花を探してみよう」

小島 武雄

4月度自然教室 4月6日(木)午後1時頃  
から1時間半程

スタート:ならやまBCから4グループに分  
かれて歩きます。

春です!!

いつも見慣れた、ならやまの足元にも沢山の  
草花がある事に、気づいてみましょう。

今回は、パトロールGが自然教室を応援して  
いきます。

BCから、緑陰広場、梅林、四季の丘、A地区  
を周りながら、野草26種、樹木7種、その他  
の園芸種を含めて観察して歩きます。いつも何  
気なく目にしている草花ですが、よく見つめれ  
ば、みんな素敵です。観て、味わい、匂う等、  
あまり難しい話はできませんが、午後のひと時  
を一緒に楽しく過ごせたら嬉しいです。

山道には入りませんので、気楽に参加ください。



何かな、BCにて



4月 月例研修会のご案内

ナメゴ溪谷の桜を見に行こう

富井 忠雄

ナメゴ谷の桜は、天川村と上北山村を結ぶ  
R309号線「行者還林道」にある絶景スポット  
です。緑色の針葉樹の中で尾根筋だけに山桜な  
どの広葉樹が残された珍しい景観で知られてい  
ます。近年

では観光ポ  
スターなど  
ですっかり  
有名になり  
ました。奈  
良の市街部



からだと車で2時間以上はかかる場所で、行者  
還岳の名称は行者さえも引き返した険しさに由  
来するといわれています。

今回はナメゴ溪谷までマイクロバスで行き、  
花見をして、帰り道の「あきつの小野公園」で  
食事をします。近くに「蜻蛉の滝」もあります  
のでごらんください、お勧めです。

帰りに大滝ダムを見学します。

みなさまのご参加をお待ちしています。

記

日 時:令和5年4月18日(火)雨天実施  
集 合:近鉄奈良駅前 奈良商工会議所前 8時  
持ち物:飲物・雨具・敷物  
会 費:6000円(バス代・飲物・弁当代含)  
申込先:富井忠雄

行 程:奈良商工会議所前8時→169号→多  
武峰街道(新鹿路トンネル)→宮滝169号→  
川上村→上北山村→行者還林道-ナメゴ溪谷  
(花見)-169号線→川上村→あきつの小野  
公園(食事)→大滝ダム→宮滝→多武峰街道桜  
井→169号→近鉄奈良駅17時頃

2023年3月度 幹事会報告

- I. 会計・総務部より
  - ・会員動向：退会1名 会員数149名
  - ・シニア自然大学校からの入会予定者2名
  - ・会計：助成金収入他収支報告あり  
本年度の会計期末を3月20日とし、今後、会計年度を3月21日～翌3月20日とする。
- II. 活動・行事関係
  - \*ならやまプロジェクト関係
    - ・仮称きたかべ付近の希少植物保護のために通路整備する。あとの管理はパトロールグループが行う。里山Gの樹木撤去は10本程度とし植生に配慮する。
  - \*イベント関係
    - ・2023年度イベント計画・担当表の協議
    - ・3/25 わいわい桜祭り 10～12時  
子供向け工作で参加、スタッフ5名ほど募集
    - ・3/30 新入会員歓迎会 対象者5名 豚汁等
  - \*自然教室について担当は小島に変更。  
2023年度予定(自然観察会4回、学習支援6回)の説明あり
- III. 企画、助成金事業案件
  - ・年度末に向け各報告書等取り纏め中
- IV 特定議題
  - ・3/3 徳地先生一行見学受け入れ(10数名)
  - ・2023年度予算：年間収支は大幅な赤字が見込まれるため、各G要求額から10%削減を織り込んで予算化する。収支改善の具体策を検討する必要がある。
  - ・総会の開催 5/20 中部公民館
- V 広報関係
  - ・ネイチャーなら4月号編集内容について説明  
1ページ目にできるだけトピックスを掲載
- VI 報告・連絡事項、その他
  - ・月例研修会 4/18 ナメゴ谷の花見予定
  - ・自然教室 4/6 春のならやま自然観察会予定

以上



ある雑誌の言葉

原始仏教典「一夜賢者教」より

過ぎ去れるを追う事なかれ

いまだ来らざるを思うことなかれ

過去 それは過ぎ去りたり

未来 それはいまだ至りざるなり

されば ただ現在するところのものを

そのところにおいてよく観察すべし

揺らぐことなく 動ずることなく

そを見極め そを實踐すべし

ただ今日まさになすべきことを

過去を振り返る時、私の年齢だと昔はできたのにと、悲観したりする。未来を思う時、自分を想像して衰えや病気を心配する。しかし、今をしっかりと見つめ、大切に過ごそうと考えたら、気持ちは明るくなると。

4月は多くの人々が、別れと出会いを経験する。ならやまも訳あって去る人、新しい時間を求めてくる人が交錯する。それぞれの「今」にエールを送りたい。(もちろん自分にも)

新年度に向けて明るくスタートしよう!

\*\*\*\*\*

5月ならやま活動&行事予告

- \*ならやま活動 5/4(木) 協働活動日
- \*総会 5/20(土) 奈良市中部公民館
- \*自然教室 5/15(木) 生駒山麓自然観察会

会員動向(敬称略)  
 <入会者>2/16 高下 美知子  
 3/9 大山 博美

発行：奈良・人と自然の会  
 URL : <http://www.naranature.com>  
 編集代表 Mail: [editor@naranature.com](mailto:editor@naranature.com)  
 編集委員：青木(幸)・青木(芳)・尾崎千載・田中(善)・戸田・豊田

表紙写真：協働活動の日に、みんなで間伐した杉の木を運び出しています。